

## (仮称) ウィンドファームつがる風力発電事業 環境影響評価準備書に対する意見と事業者としての見解

株式会社グリーンパワーつがる

分類	意見の概要	事業者としての見解
動物	<p>実施区域は湖沼、湿地、林地があり、湿地・草原の鳥類と林の鳥類が生息している。また、北海道と本州を往来する鳥類の玄関口である竜飛崎が北にあることから多種鳥類の移動ルートとその休息地になっており、地理的にも、環境的にも我が国鳥類の保全上極めて重要な地域である。特に、事業区域南部の平滝沼、ベンセ沼、大滝沼周辺はチュウヒ、オオセッカ、コジュリンをはじめ各種重要鳥類の繁殖・生息地であり、ガン・ハクチョウ・カモ類の休息地として保全されなければならない。</p> <p>本調査の結果からも平滝沼・ベンセ沼・大滝沼周辺の出現鳥類、飛翔行動域等から当地が鳥類保護上重要な地域であることが再確認された。</p> <p>環境影響評価準備書掲載の風力発電機の設置位置で鳥類保護上特に不適と判断されるのは、平滝沼北部 5 地点、平滝沼からベンセ沼西部 3 地点、大滝沼東部と南部 2 地点であり、その設置位置を変更すること。これらの位置は水鳥や猛禽類のバードストライクや湿地付近に生息・繁殖する鳥類の低周波による生息地の放棄が懸念される。</p> <p>本事業全般にわたり発電機稼働後の影響調査を実施し、問題があれば当該発電機の撤去や稼働停止・休止などの是正措置を行うことを要望する。</p>	<p>対象事業実施区域はベンセ沼や大滝沼を含む津軽国定公園を外すよう計画したものです。また、本書に記載した配置計画は、チュウヒやオオタカの生息地、行動範囲や、ガン・カモ・ハクチョウ類の田光沼との間の移動経路から離隔をとるよう検討したものとなっております。ご指摘のような湿地周辺に生息する重要な鳥類に対しては、可能な限り影響を回避、低減できるよう配慮してまいりましたが、今後の評価書作成時までにはさらに検討を加え、より影響を低減することができるよう努めてまいります。</p> <p>なお、運転開始後はバードストライクに関する事後調査を行い、その結果は事後調査報告書として公開します。調査の結果、特定の風力発電機において衝突が集中するなど、重大な影響が認められた場合には、関係機関や専門家等にヒアリングを行いながら、必要な対応を行うものとします。</p>